

## クロストークセッション

「夢を叶えるために～子どもたちに伝えたいこと～」 吉田 康弘氏×瀧 靖之氏 15：30～15：55

プログラムの最後には、「夢を叶えるために～子どもたちに伝えたいこと～」と題し、クロストークセッションを実施。吉田監督、瀧教授、それぞれがお互いの講演を聞いて感じたことや、最後に伝えたいことなどをお話しいただきました。



瀧教授からは、「私は立場上、医者、それから学者という立場でいろいろなところで講演しますが、どうやったら医者になれるのかと、よく聞かれます。でも、医学部に入ることがゴールではない。その先、研究して世の中のたくさんの人を助ける、あるいは無医村で一生懸命自分が頑張る、あるいは国境なき医師団で世界を回るなど、いろいろなことがあります。先の人生をいかに自分でたくさん考えて、考えて、考え抜くか。まさに具体化です。

昔は、得意なことと苦手なことでは、苦手なことを一生懸命やりなさいというのが多かったですが、最近は実はあまりそうではなくて、得意なことを突き抜けさせる。死ぬほど、とことんやりたいだけやらせると、それが伸びるだけではなくて、汎化（はんか）といって、苦手なことも伸びてくる。たぶん一つの自信なのです。そういうことが重要ではないかといわれているので、苦手なものは苦手で仕方ないけれども、一つは得意なものを、もっと突き抜けさせると。これはすごく大事だと思います。

また、私たちは何をやるのも親しみ度というのが大事です。ファミリーリティというのですが、例えば社会が嫌いだったり、何か嫌いだったらしたら、例えば日本史で出てくるような、いろいろな所に行ってみる。そういう何か少しでも言葉などが入ると、苦手意識は減ってくるのです。何となく聞いたことがあるものや、何かちよつと分かるものは、親しみを持って、どんどん取り組めるようになります。」とのメッセージを来場者にお話しいただきました。

吉田監督からは、「瀧教授のお話を妻に聞かせたかったです、帰ったら是非話そうと思います。すぐに実践したいことだらけで、自分も楽しむことが大事ということは、すぐなるほどな、と思いました。親の楽しむ姿を見せるということが、すごく参考になりました。」とコメントがありました。お二人の話に共通することとして、子供たちが夢を叶えるためにも、まず家族や周りの大人たちが生き生きと毎日を楽しんで生きること、その姿を子供たちに見せることが大切だという点を本日のまとめとして挙げられ、トークセッションは幕を閉じました。

（講演内容を一部抜粋）

## エンディング 15：55～16：00

満場の拍手と共に閉会し、最後は会場のみなさんとヒムカイザーの撮影会で終了しました。

